

資料番号	1
------	---

令和8年10月1日
課 名 商工労働局経営革新課
担当者 担当課長 和田
内 線 3460

広島県経済の動向

令和8年10月1日
商 工 労 働 局

目 次

1	経済動向の概要	1
	（１）国内経済の動向	
	（２）広島県経済の動向	
2	県内主要製造業の生産動向	3
	（１）鉄鋼	
	（２）自動車	
	（３）造船	
	（４）一般機械	
	（５）電気機械	
3	県内小売業等の動向	5
	（１）百貨店・スーパー	
	（２）宿泊・飲食サービス	
	（３）観光	
4	中小企業の動向	7
	（１）概況	
	（２）景況感・景況感の変化	
	（３）前月から変化のあった主な業種	
5	企業倒産状況	9
	（１）概況	
	（２）業種別	
	（３）原因別	
	（４）今後の見通し	
6	最近の雇用失業情勢	10
	（１）県内の有効求人・求職の動向	
	（２）県内の新規求人・求職の動向	
	（３）県内の人員整理の状況	
	（４）完全失業率の状況（全国・県内）	

（注）「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

1 経済動向の概要

(1) 国内経済の動向

ア 概要

指 標	令和8年		
	6月	7月	8月
基調判断	景気は、穏やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある		景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある
輸 出	このところ持ち直しの動きがみられる		持ち直しの動きがみられる
生 産	横ばいとなっている		
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	改善の動きがみられる		
個人消費	持ち直しの動きがみられる		
住宅建設	弱含んでいる		総じて横ばいとなっている
消費者物価	緩やかに上昇している		
企業収益	改善の動きがみられるが、中東情勢の影響を注視する必要がある		改善しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある

イ 先行き

雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和8年8月27日公表）】

(2) 広島県経済の動向

ア 概要

指 標	令和8年		
	5月	6月	8月
基調判断	緩やかな回復基調にある		
輸 出	緩やかに持ち直している		緩やかに回復している
生 産	緩やかに持ち直している		緩やかに回復している
設備投資	増加している		
雇用・所得	緩やかに改善している		
個人消費	緩やかな回復基調にある		
住宅投資	下げ止まっている		
消費者物価 (除く生鮮食品、広島市)	1%台半ばのプラスとなっている		

イ 県内の経済の先行き

今後の中東情勢の展開や原油価格の動向などが、企業の生産や賃金・価格設定行動、個人消費の動向など、県内の金融経済情勢に与える影響を注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和8年9月4日公表）】

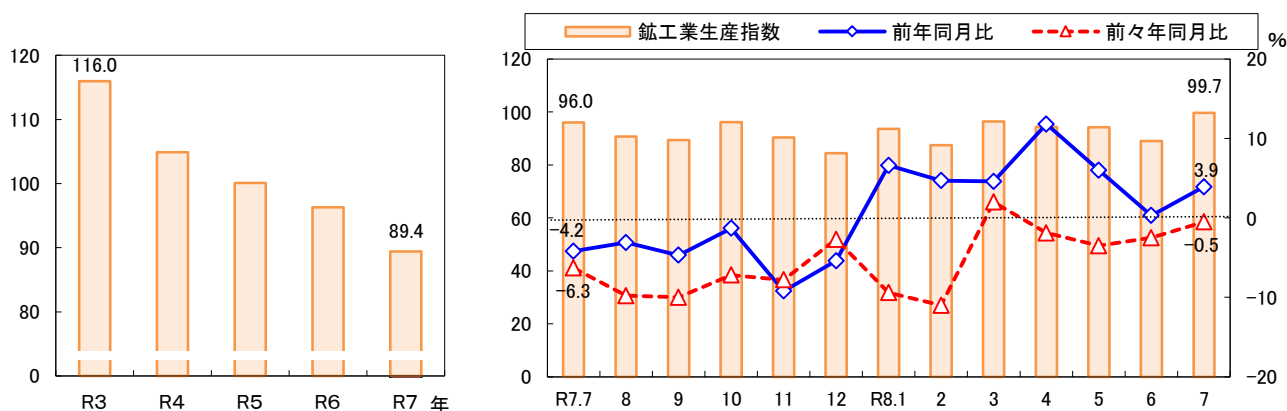
2 県内主要製造業の生産動向

(1) 鉄鋼（令和8年7月）

7月の鉄工業生産指数（鉄鋼業、原指数、速報値、令和2年＝100）は99.7で、前年同月比で3.9%増加で、前々年同月比で0.5%減少となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業) (年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

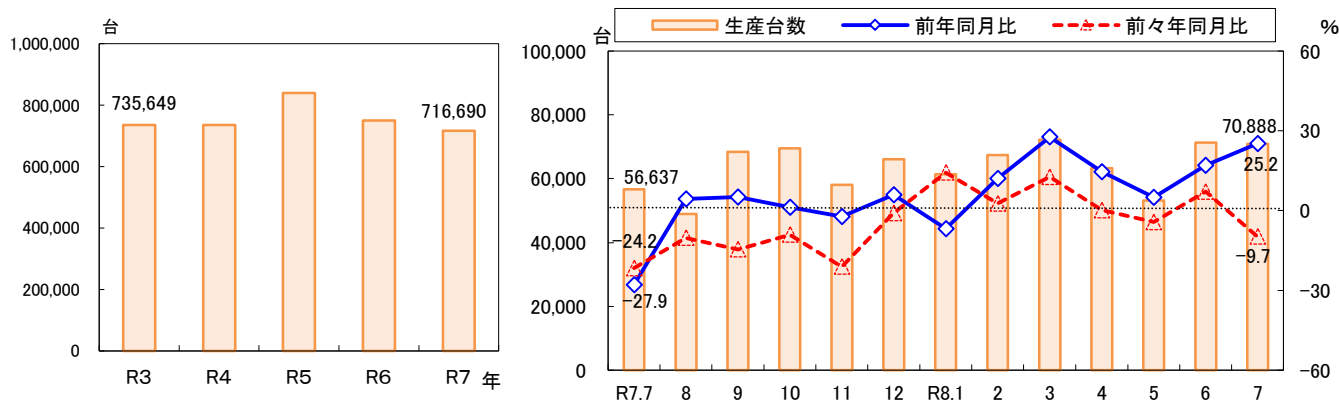


(2) 自動車（令和8年7月）

7月の国内生産台数は70,888台で、前年同月比で25.2%増加、前々年同月比で9.7%減少となっている。

自動車生産台数(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

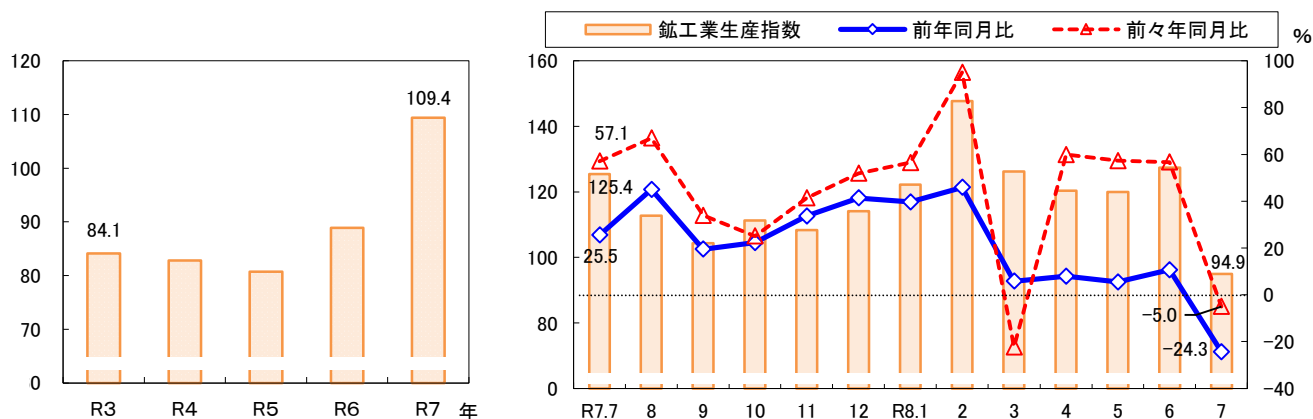


(3) 造船（令和8年7月）

7月の鉄工業生産指数（造船部門、原指数、速報値、令和2年＝100）は94.9で、前年同月比で24.3%減少、前々年同月比で5.0%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門) (年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

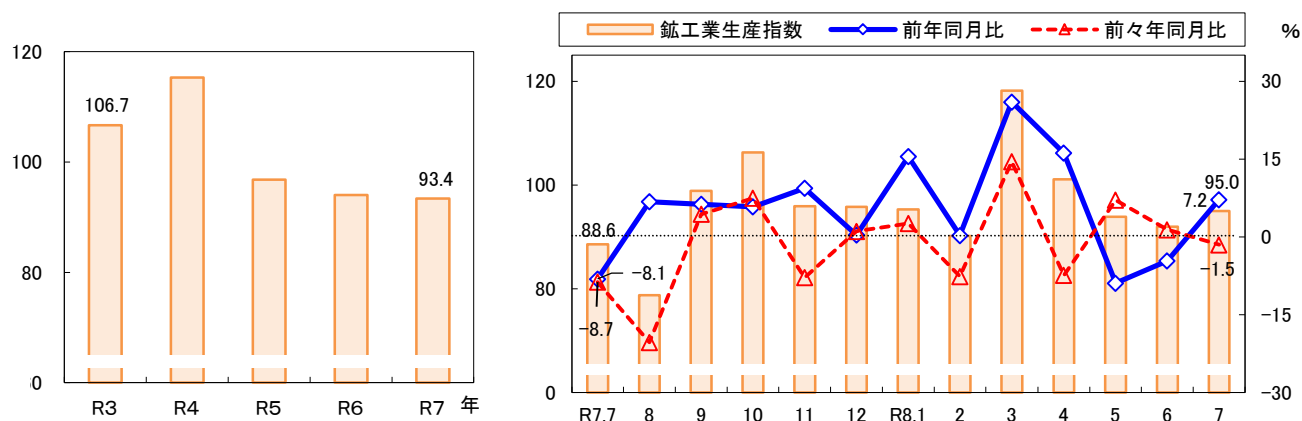


(4) 一般機械（令和8年7月）

7月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、令和2年=100)は95.0で、前年同月比で7.2%増加、前々年同月比で1.5%減少となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

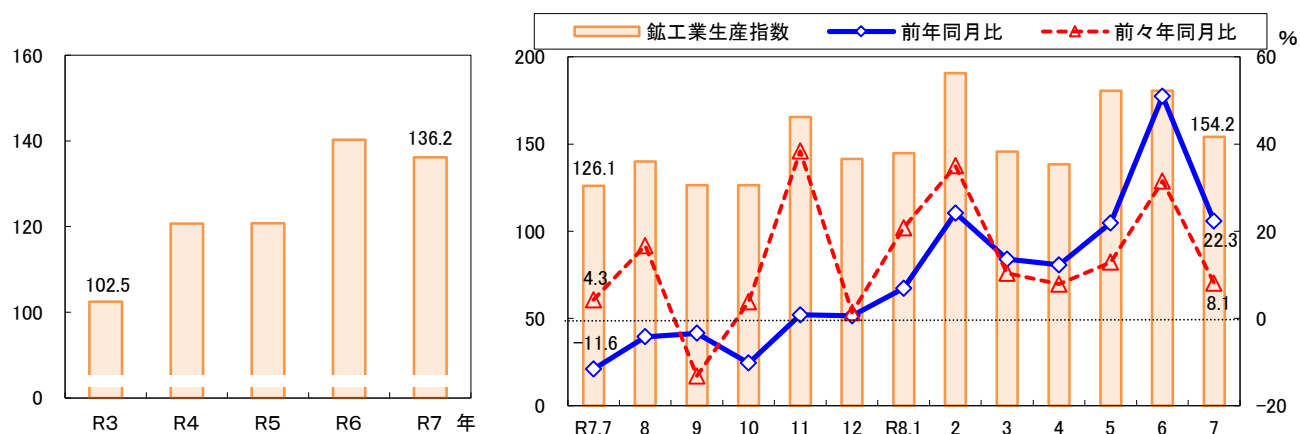


(5) 電気機械（令和8年7月）

7月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、令和2年=100)は154.2で、前年同月比で22.3%増加、前々年同月比で8.1%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

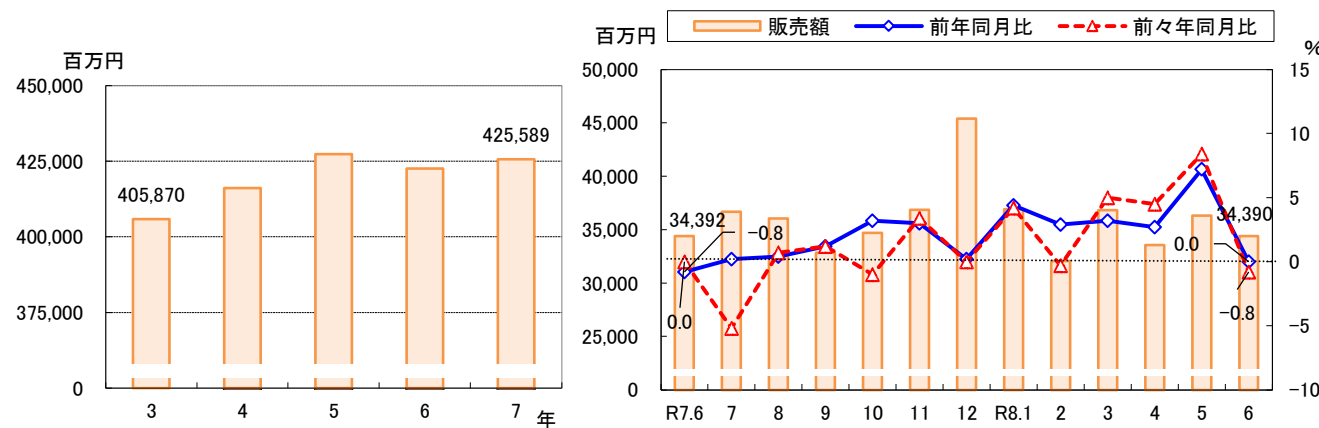


3 県内小売業等の動向

(1) 百貨店・スーパー（令和8年6月）

6月の販売額は、34,390百万円（速報値）で全店舗前年同月比で±0.0%、前々年同月比で0.8%減少となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向（広島県）（年別・月別・前年同月比・前々年同月比） 【中国経済産業局】



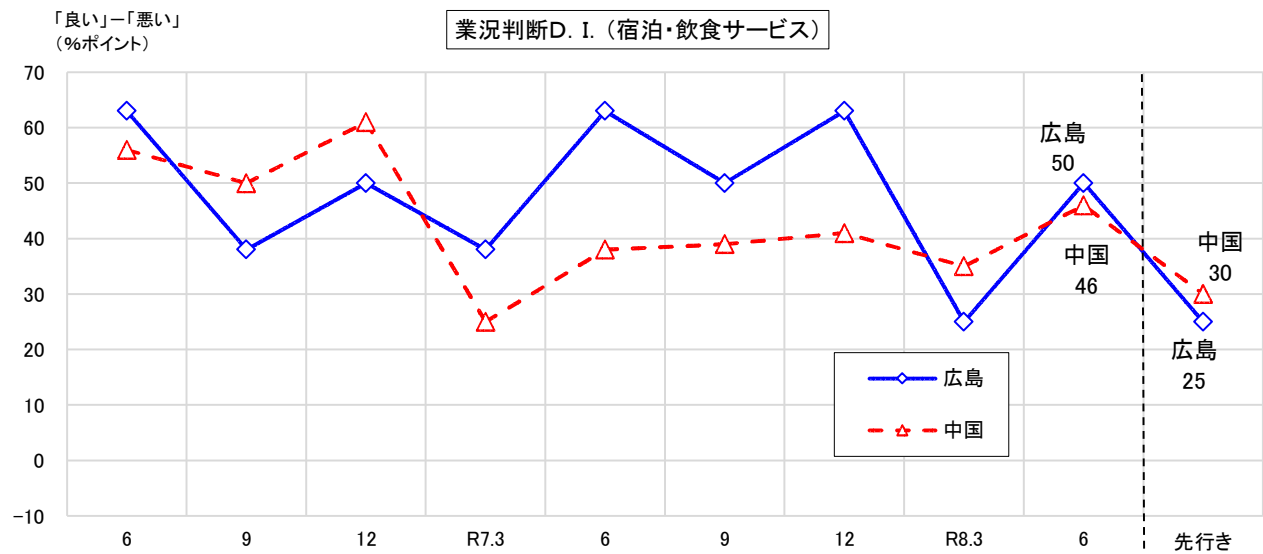
(2) 宿泊・飲食サービス（令和8年6月）

6月の業種別業況判断D. I.（宿泊・飲食サービス）は、50%ポイントと前回調査時より25%ポイント改善している。

（「良い」－「悪い」、%ポイント）

調査月	令和7年12月	令和8年3月	令和8年6月	
			最近	先行き
業況判断D. I. (変化幅)	63 (+13)	25 (▲ 38)	50 (+25)	25 (▲ 25)

【日本銀行広島支店「企業短期経済観測調査結果の概要」（令和8年7月1日公表）】



(注) 業況判断D. I.（「良い」－「悪い」回答者数構成比）

(3) 観光

ア 宿泊者数（令和8年1月～6月）

令和8年1月～6月の宿泊者数は530.2万人泊で、前年同期間と比べ4万人泊減（▲1%）、コロナ前の令和元年同期間と比べて28.2万人泊減（▲5%）となった。外国人宿泊者数は107.2万人泊で、令和元年同期間と比べて42万人泊増（+64%）となった。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

（単位：万人泊）

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計	1～6月計
広島県	R8年宿泊者数	71.9	78.4	99.5	95.4	101.1	83.9	発表前						530.2	530.2
	R7年宿泊者数	69.1	71.2	96.6	101.3	107.5	88.5	94.3	115.9	97.7	114.0	113.2	93.7	1,163.2	534.2
	R7年比	104%	110%	103%	94%	94%	95%	—	—	—	—	—	—	46%	99%
	R元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	1,163.1	558.4
	R元年比	97%	102%	98%	88%	93%	96%	—	—	—	—	—	—	46%	95%
全国	R8年宿泊者数	4,546	4,765	5,441	4,911	5,429	4,582	発表前						29,674	29,674
	R7年比	93%	99%	98%	93%	97%	92%	—	—	—	—	—	—	45%	95%
うち外国人	R8年外国人宿泊者数	10.4	11.6	20.5	27.7	20.6	16.3	発表前						107.2	107.2
	R元年宿泊者数	7.0	6.2	11.6	18.1	12.5	9.8	12.7	10.5	9.3	16.5	10.6	7.4	132.2	65.2
	R元年比	150%	186%	177%	154%	165%	166%	—	—	—	—	—	—	81%	164%
	R8年外国人宿泊者数	1,283	1,404	1,428	1,536	1,451	1,222	発表前						8,324	8,324
	R元年比	139%	151%	150%	136%	149%	127%	—	—	—	—	—	—	72%	142%

※出典：観光庁宿泊旅行統計調査

令和8年は宿泊旅行統計調査の速報値で、令和元年、令和7年は、確定値を反映。

令和8年の宿泊者数は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

※宿泊旅行統計調査は、令和8年1月分調査から、統計精度の更なる向上を図るために見直しを行い、**「従業員数」から「客室数」に変更したため、過去の数値と単純比較する際には見直しの影響が含まれている可能性がある点に留意。**

イ 県内主要観光施設の観光客数（令和8年5月～7月）

令和8年5月～7月は、同年4月にリニューアルオープンした大和ミュージアムの誘客効果が継続し観光客数が増加した一方、6月は前年同月と比べて約2.1倍の降水量となり、屋外施設など天候の影響を受けやすい施設では観光客数が前年を下回る事例が見受けられた。

【各観光施設からの開取調査】

（単位：人）

観光施設		R 元年			R 7 年			R 8 年		
		5月	6月	7月	5月	6月	7月	5月	6月	7月
広島平和記念資料館		241,864	150,107	130,919	262,804	183,497	182,299	280,511	188,578	177,255
	R 7 年比	—	—	—	—	—	—	107%	103%	97%
	R 元年比	—	—	—	109%	122%	139%	116%	126%	135%
宮島来島者数		538,903	301,989	292,467	463,219	316,394	318,942	476,064	302,393	321,802
	R 7 年比	—	—	—	—	—	—	103%	96%	101%
	R 元年比	—	—	—	86%	105%	109%	88%	100%	110%
大和ミュージアム ※R8. 4. 23～ 大和ミュージアム		114,423	62,797	72,655	20,952	16,107	18,123	125,954	72,268	85,702
	R 7 年比	—	—	—	—	—	—	601%	449%	473%
	R 元年比	—	—	—	18%	26%	25%	110%	115%	118%
道の駅たけはら		17,514	12,987	13,975	10,915	12,745	8,330	11,229	7,726	7,991
	R 7 年比	—	—	—	—	—	—	103%	61%	96%
	R 元年比	—	—	—	62%	98%	60%	64%	59%	57%
神楽門前湯治村（定期公演）		3,810	2,707	2,099	2,663	2,152	1,286	3,391	1,595	1,197
	R 7 年比	—	—	—	—	—	—	127%	74%	93%
	R 元年比	—	—	—	70%	79%	61%	89%	59%	57%
千光寺ロープウェイ		58,650	30,611	35,979	56,497	37,888	38,958	66,442	36,351	47,897
	R 7 年比	—	—	—	—	—	—	118%	96%	123%
	R 元年比	—	—	—	96%	124%	108%	113%	119%	133%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館		1,725	1,154	912	1,687	869	895	1,436	774	1,086
	R 7 年比	—	—	—	—	—	—	85%	89%	121%
	R 元年比	—	—	—	98%	75%	98%	83%	67%	119%
国営備北丘陵公園		77,452	21,592	28,476	51,366	17,242	23,574	49,083	13,493	21,780
	R 7 年比	—	—	—	—	—	—	96%	78%	92%
	R 元年比	—	—	—	66%	80%	83%	63%	62%	76%

4 中小企業の動向（令和8年7月）

【広島県中小企業団体中央会（令和8年8月21日時点）】

(1) 概況

県内の多くの企業では、原材料費やエネルギー価格の高騰、為替変動に伴う調達コストの上昇に加え、物価高が収益を圧迫するなど、厳しい様子が窺える。また、国際情勢の先行きに対する懸念などから、景気回復の見通しは依然として不透明である。

自動車関連業種では、7月の国内自動車販売台数は前年同月比+6.8%と4か月連続増加しており、マツダ車は前年同月比+3.3%と2か月連続の増加となった。

また、木材業界では、7月の全国新設住宅着工戸数は66,439戸で前年同月比+8.2%となり、県内では1,015戸で、前年同月比+13.4%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「7月の生産・販売状況について」に基づく

※木材業界に関する記載は、国土交通省が公表する「建築着工統計調査報告」及び広島県がホームページに掲載する「新設住宅着工戸数」の7月分のデータに基づく

(2) 景況感・景況感の変化

業種	6月の景況感	7月の景況感
食料品	普通	普通
繊維・衣服	普通	普通
木材	やや悪い	やや悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	普通
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼（鋳物）	やや悪い	やや悪い
金属製品	やや悪い	やや悪い

業種	6月の景況感	7月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	やや好況	普通
自動車部品	やや好況	やや好況
造船	やや好況	やや好況
建設	やや悪い	普通
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

（単位：業種）

景況感	6月	7月	増減数
好況	0	0	0
やや好況	3	2	▲ 1
普通	6	7	1
やや悪い	9	9	0
悪い	1	1	0

(3) 前月（6月）から変化のあった主な業種

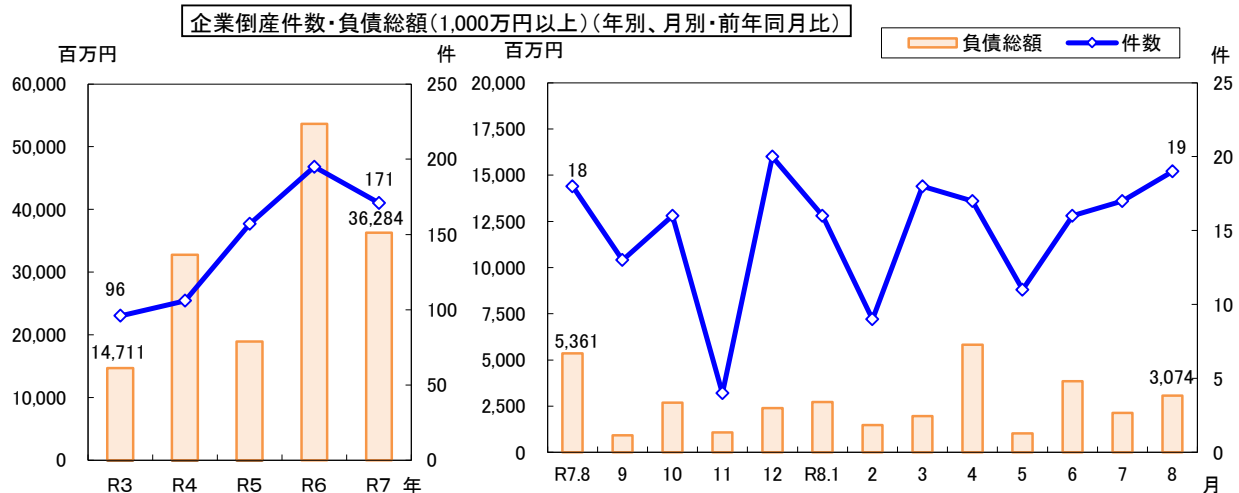
業種	6月の 景況感	7月の 景況感	変化の理由・状況
電気機械 器具	やや好況	普通	・材料価格の高騰傾向は依然として続いており、価格転嫁の推進と生産性向上への取り組みが求められる。 ・日米による協調介入を通じた円高対策が実施されているものの、為替の大幅な変動は先行きへの不透明感を高め、設備投資意欲の低下を招くなど、地元ものづくり企業に悪影響を及ぼす懸念がある。 【広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）】
建設	やや悪い	普通	・現状では、今後の見通しに不安を感じている組合員が多い。 ・酷暑対策について、行政が学校の空調にも目を向けているようで、学校照明の節電機器の取り替えに加え、空調機の取り替えにも期待している。 ・広島県電気工事工業組合としても、今年度、空調機の取り替えに伴う助成金を申請し、これから取り替えを行うところであるが、行政の補助制度の活用は景気対策として大きな役割を果たすと考えている。 【広島県電気工事工業組合】

5 企業倒産状況（令和8年8月）

（1）概況

負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が19件、総額30億7,400万円であった。
前月比では、件数が2件増、負債総額は9億3,000万円増加した。
前年同月比では、件数は1件増、負債総額が22億8,700万円減少した。
大型倒産（負債総額10億円以上）は0件であった。

区 分	令和8年6月	令和8年7月	令和8年8月
件 数 (前年同月比)	16件 (20.0%減)	17件 (5.6%減)	19件 (5.6%増)
負債総額 (前年同月比)	3,850百万円 (26.8%減)	2,144百万円 (80.4%減)	3,074百万円 (42.7%減)



（2）業種別

件数は、サービス業7件、建設業が5件、卸・小売業4件、製造業2件、運輸業が1件となった。
負債総額は、サービス業、建設業、運輸業、卸・小売業、製造業の順となった。

（3）原因別

原因別では、販売不振が17件、既往のシワ寄せ（特別清算開始決定・破産開始決定）2件であった。

（4）今後の見通し

令和8年8月度の倒産件数は19件、負債総額30億7,400万円で、件数は前年同月比では2ヶ月ぶりの増加、前月比は、3ヶ月連続の増加、負債総額は前年同月比は4ヶ月連続の減少、前月比は2ヶ月ぶりの増加となった。
業歴別倒産状況では30年以上が12件、20年以上が3件、10年以上が2件となり、業歴10年以上の倒産が全体の89.5%となり、前月7月度では業歴10年以上の倒産が全体の88.2%となり、業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が17件で最多となり、既往のシワ寄せは2件、売掛金等回収難は0件で、これらを合計した不況型倒産は19件で全体の100%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は8月度19件中5件発生し、これまでの累計は341件（負債総額1,000万円未満、弁護士一任・準備中を除く）となった。近時、増加傾向である代表者の急逝を要因とした倒産について発生は無く、（株）備九運輸は原油高、人件費高騰が要因で倒産した。

令和8年に入っても、イラン情勢の緊迫化やホルムズ海峡の目詰まり懸念を背景としたナフサ供給不安、樹脂・包材などの先行値上げ、在庫の急速な低下、一部企業の受注停止、塗装材の深刻な不足に加え、関税問題や為替の乱高下が企業経営を強く圧迫している。とりわけ為替は一時1ドル＝163円95銭まで進む歴史的な円安局面を迎え、輸入コスト上昇を通じて国内物価を一段と押し上げた。

差別化された商品・サービスを有し、コスト増を適切に売価へ転嫁できる企業や、多角的なサプライチェーン管理体制を構築している企業は、こうした逆風下でも収益基盤を維持・拡大できている。しかし、価格転嫁力に乏しく、資金余力のない企業は、仕入価格の高騰、人件費負担の増加、金利上昇による資金調達コストの増大という三重苦、さらにはキャッシュフロー悪化にも晒され、市場からの脱落を余儀なくされる局面が増加している。

特に中小・零細企業では、賃上げを実施しても十分な利益を確保できず、“賃上げ疲れ”が資金繰り悪化に拍車をかけているほか、コロナ禍で積み上がった過剰債務を抱える企業では、新たな借入や借換え時に金利上昇の影響が直撃しやすい状況にある。今後も為替、中東情勢、物価、人件費、金利のいずれについても不確実性は高く、企業が生き残るための喫緊の課題は、「仕入先の分散・サプライチェーンの強靱化」「コスト上昇を織り込んだ適正な価格転嫁」「人材確保を見据えた生産性向上」、そして「金利上昇を前提とした厳格な資金繰り管理」である。徹底したコスト最適化と付加価値向上により収益力を確保できる企業と、対応が遅れる企業との二極化と市場再編は、今後さらに加速していく見通しである。

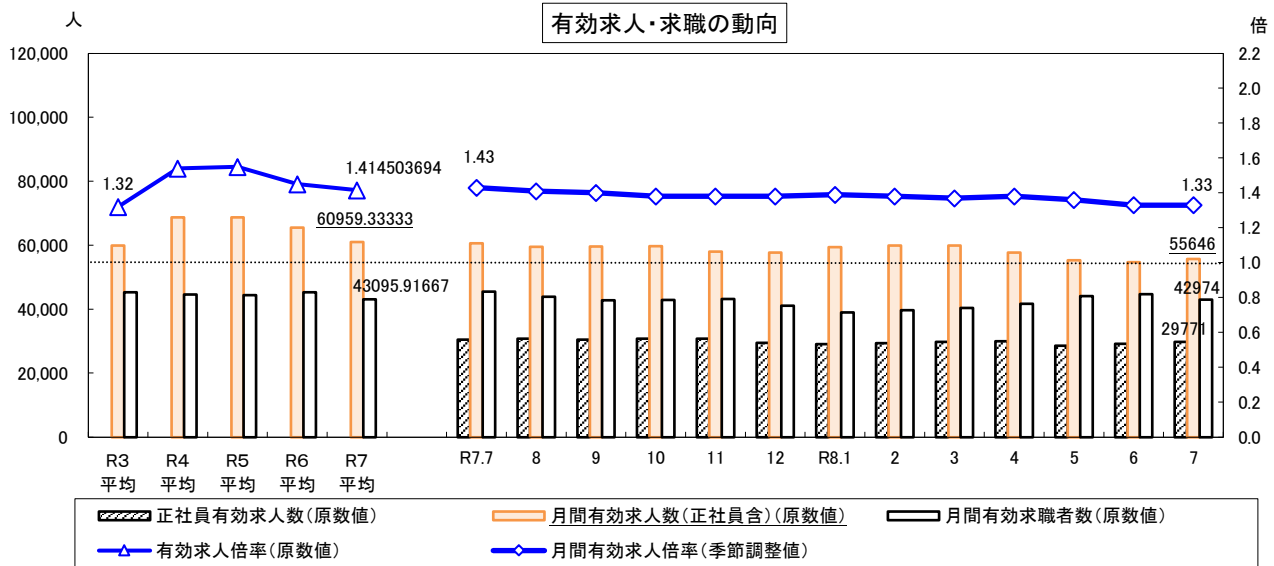
【（株）東京商工リサーチ（令和8年9月3日時点）】

6 最近の雇用失業情勢（令和8年7月）

(1) 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和8年5月	令和8年6月	令和8年7月
有効求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	1.36倍 (▲0.02ポイント)	1.33倍 (▲0.03ポイント)	1.33倍 (±0.00ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.13倍 (▲0.05ポイント)	1.16倍 (▲0.04ポイント)	1.20倍 (▲0.02ポイント)

【広島労働局】

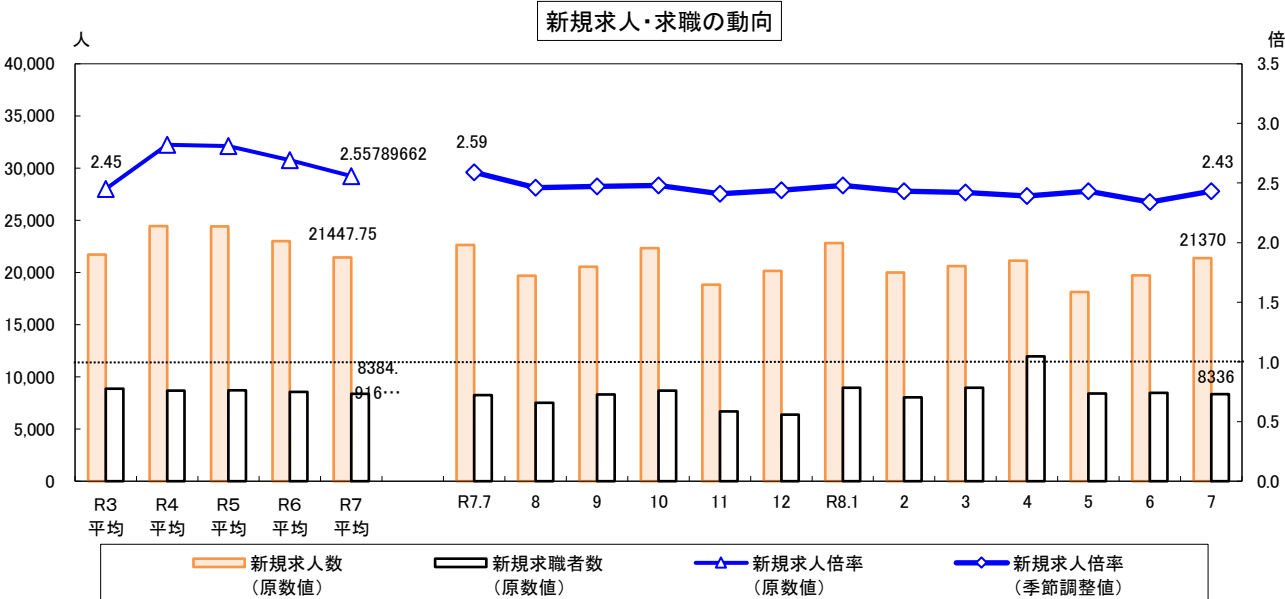


- (注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。
- (注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。
- (注3) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

(2) 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和8年5月	令和8年6月	令和8年7月
新規求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	2.43倍 (+0.04ポイント)	2.34倍 (▲0.09ポイント)	2.43倍 (+0.09ポイント)

【広島労働局】

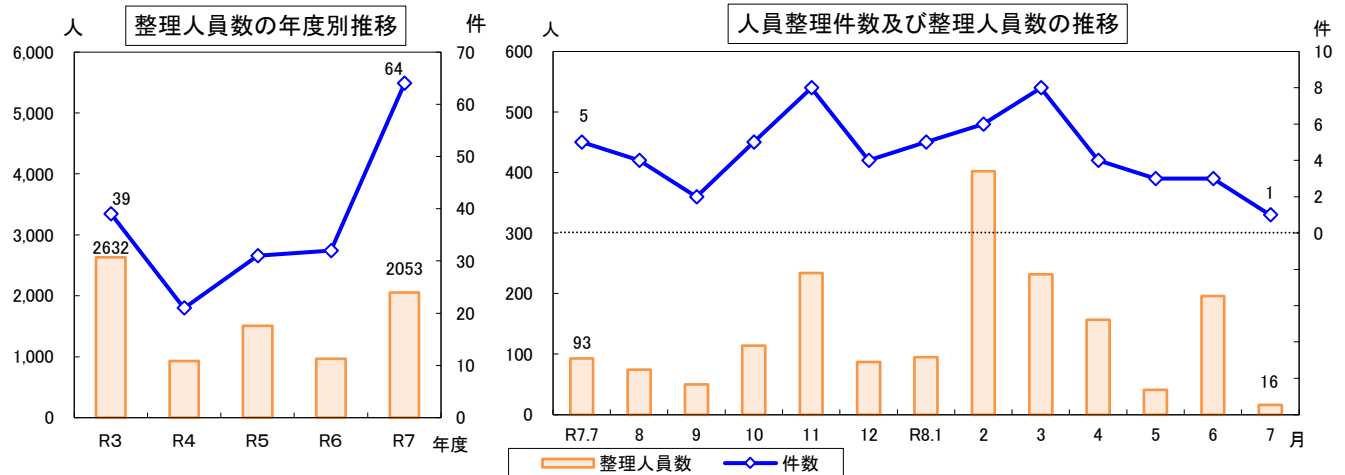


- (注) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

(3) 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

区 分	令和8年5月	令和8年6月	令和8年7月
件数 (前年同月比)	3件 (▲4件)	3件 (±0件)	1件 (▲4件)
整理人員 (前年同月比)	41人 (▲388人)	196人 (+151人)	16人 (▲77人)

【広島労働局】

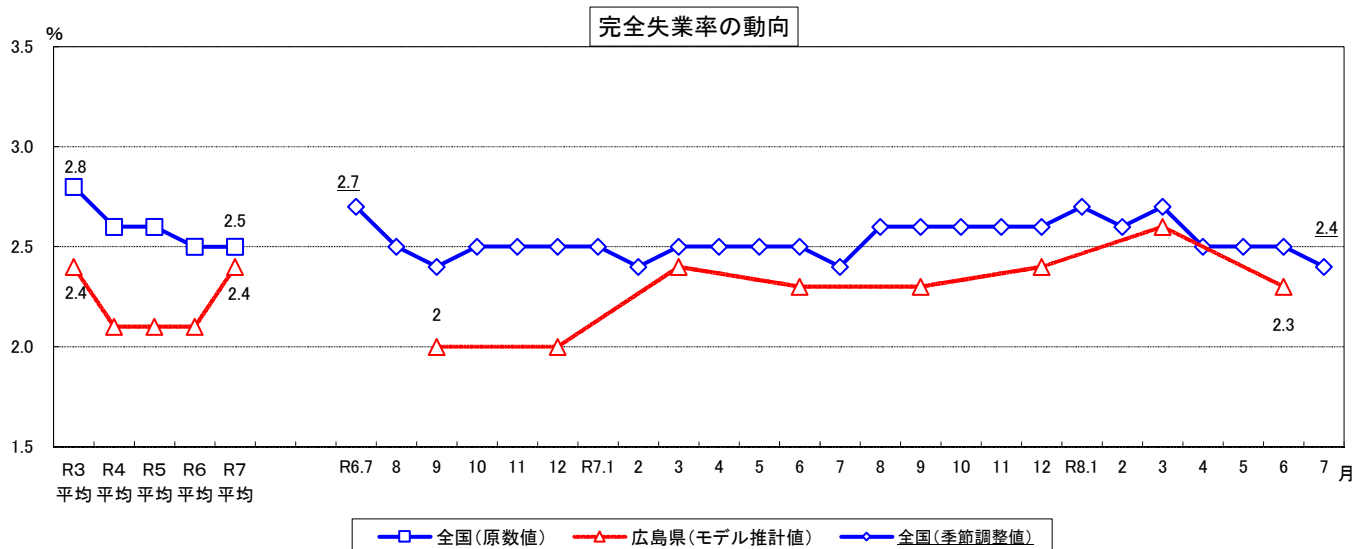


(4) 完全失業率の状況（全国・県内）

区 分	令和8年5月	令和8年6月	令和8年7月
全国完全失業者数 (前年同月比)	185万人 (+2万人)	178万人 (+2万人)	169万人 (±0万人)
全国完全失業率〈季節調整値〉 (前月比)	2.5% (±0.0ポイント)	2.5% (±0.0ポイント)	2.4% (▲0.1ポイント)

区 分	令和7年	令和8年	
	10～12月平均	1～3月平均	4～6月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.4% (+0.4ポイント)	2.6% (+0.2ポイント)	2.3% (±0.0ポイント)

【総務省統計局】



※ 全国完全失業率の季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去に遡って一部改定している。